

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 大新小学校
校長氏名	山本 恵子
作成日	令和 5年 2月 14日

1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査における正答率について県平均以上を目指す。 児童アンケートの「勉強がわかる」の項目で90%以上 図書貸出年間平均1人40冊以上 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの「学校が楽しい」の項目で95%以上 保護者アンケートの「楽しそうに学校に通っている」の項目で95%以上 児童アンケートの「あいさつ」の項目で90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 元気大作戦(生活アンケート)で運動や体を動かす遊びの達成率90%以上 睡眠時間の確保(生活アンケート) 達成率90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている」の項目で90%以上(随時ホームページ更新) 地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い学習を取り入れた子供主体の授業づくり 読書活動の推進 自主学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳、人権教育の充実 自己肯定感の高揚 やさしさ、思いやりを持った子供の育成 あいさつの定着 	<ul style="list-style-type: none"> 気力・体力の充実した子供の育成 基本的生活習慣の定着 健康・安全についての知識と習慣の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の情報公開の推進 保護者や地域、関係機関との協力・連携の深化 学校運営協議会制度の活用
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> 子供主体の話し合い学習の工夫(課題・展開・形態等)を行った。 多くの場面で書く活動を取り入れ、思考力、判断力、表現力を育成する授業を行った。 学級図書や図書コーナー、図書室の本を利用して、本に親しむように努めた。 全学年において自主学習の手引きを配布し、取組を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心根のやさしい子」を目指し、お互いに支え合い認め合う「笑顔で素敵な」学校・学級づくりを進めた。 「心ふれあい単元」を計画し、道徳の時間の充実に努めた。 人権意識を高める人権教育についての授業を実施した。 なかよし(全校縦割り)活動や青少年赤十字活動の取組を行った。 「あいさつ」と「親子のふれあい(会話)」の啓発に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> なかよし活動で朝マラソンやなわとび、ラジオ体操等の取組を行った。 休憩時間等に教師も運動場に出て、子供と一緒に活動することで積極的に運動する子供を育てた。 「早寝・早起き・朝ごはん」手洗い、歯磨き等基本的な生活習慣を確立させるよう働きかけた。 避難訓練や交通安全教室を行い、健康・安全について学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校・学年だよりや学校ホームページ等を活用して積極的に情報発信を行った。 大新太鼓、読み聞かせ等、ゲストティーチャーや学校ボランティアなど外部講師を積極的に活用した。 公民館、人権委員会、社会福祉協議会等「体験教室」や「人権標語」「県音楽隊鑑賞」等で、地域との積極的な交流を進めた。
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> 4、5年生の県学力到達度調査は、国語、算数、理科ともに県平均以上であった。学力の育成は概ねできている。 児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「(まあ)そう思う」92%であった。すべての児童に自信と自己肯定感を持たせるため、支援を充実させたい。 新刊が多数図書室に入り、子供たちは進んで読書した。図書貸出年間平均1人40冊以上を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートの「私は学校が楽しい」は「思わない、あまりそう思わない」が7%、保護者アンケートは89%が「楽しそうに通っている」に対して好評価であった。毎日を楽しむ気持ちから豊かな心が育成されるので、引き続き指標として提示したい。 「友達と仲良くしている」では、97%の児童が好評価であった。思いやりや公正公平についての道徳の授業を大切に、心の教育を深めた。 「あいさつ」についての取組を頻繁に行ったが、児童アンケート85%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 元気大作戦で、運動や体を動かす遊びの達成率が冬季でコロナ禍ということもあり、90%に届かなかった。去年よりも少し上昇したが、外遊びの啓発をより行いたい。 睡眠時間の達成率は、80%には届かなかった。テレビやゲーム、ネットの時間や寝る時刻と関連させながら継続して指導をしていきたい。 歯磨きは、99%の達成率である。フッ化物洗口や個別歯磨き指導なども行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」「まあそう思う。」で、79%の評価で、指標には届かなかった。今年度はホームページで教育活動を1月に3回程度伝えたいが、これからも、より工夫した発信を行っていく。 今年度も、コロナ禍のため断念した活動があったが、ゲストティーチャーや地域の先達による授業を受け、専門的な技術や知識を学ぶとともに、外部講師の先生方と交流することができた。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の学習が楽しく、理解できるよう、研究工夫を行い話し合い学習など授業改善に取り組む。 自主学習ノート・作文・読書等、子供が主体的に学習に取り組めるように指導する。 自主学習について、家庭の協力を得られるように、懇談会やお知らせ等で啓発を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての子供が楽しいと思う学校になるよう、一人一人に寄り添い取り組んでいきたい。 指導が必要な場面で、即座に対応するとともに、関連する教材で、学習を深め、子供の人権意識や思いやりの心を高める取組を進める。 「あいさつ」の啓発は、保護者や地域と連携して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や体づくりへの意識を定着させるために、朝のなかよし活動の取組を継続させていく。 家庭での生活習慣について「元気大作戦」を実施し、保護者と連携して取り組んでいく。 引き続き、歯磨き指導やフッ化物洗口、個別歯磨き指導に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種の配付物やホームページで、連絡事項だけでなく、日頃の子供達の様子や出来事などについて積極的に発信するようにする。 ゲストティーチャーや地域の方々を招聘し、豊かな学びや体験を行い、交流を深める。

3 その他の課題

・コロナ禍の影響はあったが、昨年度よりも様々な学習や行事を行うことができた。しかし、予定していたことが行えなかったり、縮小したりすることが度々あり、コロナ禍前のように、家庭と地域の皆さんと連携しながら学校運営を進めていくことができなかった。音楽会や昔遊びの会、感謝の集会、お年寄りの方とのふれあい会等コロナ禍の終息とともにいつでも再開できるよう記録を残し準備をすると同時に、家庭と地域の皆さんの協力を得ながら、積極的に新しい取組も考えていきたい。